

加茂里山通信

平成29年
春号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集
編集長 征矢真進



開催中!

いちばらアート×ミックス2017

加茂地区を中心に開催される「いちばらアート×ミックス2017」が、4月7日の開会式を皮切りに、4月8日から5月14日までの37日間のスタートを切りました。予算は前回の3分の1、規模も縮小しながら、地域プロジェクトとして地元作家や活動団体、市内小学生の2000点に上る作品の展示など、新たな試みにも挑戦。2回目となる今回は各駐車場が無料となり、小中学生に無料のバスポートが配られるなどの配慮があるので、親子連れでの鑑賞が増えると予想されます。前回に引き続き、春を迎えた里山の芸術祭です。

桜も3月後半からの冷え込みで開花が遅れ、この芸術祭に合わせたかのように8日・9日の2日間で花開きました。ただ天気には恵まれず、雨と風と肌寒さが重なり、最悪の条件となりました。旧白鳥小そして旧里見小のグラウンドではぬかるみから脱出できない車も出る事態となりました。

しかしこの悪条件下でも出足は好調で、子供たちを含め多くの人たちが各会場を訪れました。願わくは最良の天気で、里山の春と芸術祭を多くの人たちに体験していただきたいと思えます。

(征矢里山通信員)

芸術祭りポータル

内田未来案校はここに、内田小学校前の郵便局を指し古敷谷から出発、初めての訪問となります。旧内田小学校をイメージしていましたが、お話を聞く小学校の一部の建物が残っていて、改修を行って今の内田未来案校となっているそうです。歴史的に波乱万丈な旧内田小学校である内田未来案校で、刺繍の蝶々が1000頭以上舞っています。作家



キジマ真紀さんがこの案校の管理者である報徳の会の皆さんと、刺繍カフエでふにるお客さんと共に作った蝶々達、風が吹けば舞い上がりそうな光景、みんなが歩けばもしかしたら。

、傍らではチェンソーを駆使していろいろな作品を作っている作家、栗田宏武氏が爆音をあげていました。今にもムクツと起き上がってきそうな熊が、鷹が、一本の木材から切り出された作品、削りだす作業は集中力がとても大事そうです。あの爆音の中で、小さく繊細な作品も作られています。切るだけでなく、チェンソーにびっくりです。

そして雨の中、月崎エリアでは人の出が多い場所として、月崎駅



にある森ジオステーション。小湊鉄道の詰所だった小屋を森山山野草で覆っています。どうなっているのか不思議そうに子供達が両親に聞いています。小屋の中も不思議世界になっています。動かない乗り物でも子供達には不思議なもの。雨の中の森ジオステーションを見ると、地元の方々の管理の大変さが良く分かります。これからの昔や山野草の成長が楽しみです。



こつもと紀行
芸術祭りポータル2
あいにくの雨でスタートしたアート×ミックス2017。旧里見小や旧白鳥小のグラウンドはぬかるんで駐車場の役を果たせず、夜間・早朝に地元の建設業者と市役所の直営班が急ぎよ砕石を入れての応急手当が行われました。もともと水捌けが良いグラウンドですから、数日の晴天があれば回復すると見込まれますが、「世界に一番近いSATOYAMA」として、市の総合計画の目玉事業としてとらえられていたイベントに水を差すようなスタートとなりました。

しかし、初日の4月8日(土)は肌寒い雨の中にもかかわらず、入場者約2千人近くを数え、これからの来客に期待が持てる結果となっています。

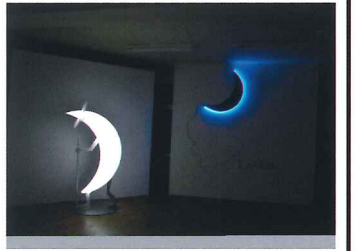
雨が上がった12日にいくつかの会場を回ってみました。旧白鳥小から始めて、鉄道写真家の中井精也さんの作品が展示されている白鳥公民館へ。そこで、婦人グループと立ち話、「石神の菜の花は見られましたか」と聞くと、養老溪谷から歩いてきたので「当然見



アート×ミックス2017の会場

(征矢里山通信員)

「てきた」とのこと。開け
ば一日徒歩で会場と景色
を見ながら過すという
ではありませんか。その
後、月崎の駅前でも遭遇
し、里見の里山食堂でも
またまた一緒にになりまし
た。これからの予定をお
聞きすると「飯給まで歩
いて小湊線へ帰る」とい
う計画だそうです。「時
間に余裕があればですが」と前置きしながら、柿の木台の
素掘りのトンネルと真高寺さんの波の伊八を紹介しま
した。



備に追われた職員たちへ
のねぎらいの言葉があり
ました。ただ、近隣自治
体の首長を何人も招待し
た市の主催行事の開会式
に、市議会議員の出席は
わずか4人で、関心のな
さを露呈した形になり、
一人の市民としてみても
もあきれざるばかりです。



開幕日から雨となり、あいにくのコンディショ
ンでしたが、旧白鳥小には多くの人が訪れました。ここ
では地域プロジェクトとして、市内各種団体や作家の
展示や催しなどがあり、また体育館には小学生たちの
絵画作品が展示されています。その関係で親子連れが
多く、また各種団体の関係者などの出入りも多い状況
でした。私は受付の反
対側の売店にいたので、
いろいろな人と出会う
ことが出来ました。近
くの白鳥公民館には中
井精也さんの小湊沿線
の写真が展示されてお
り、ギャラリートーク
もありました。

「100人教頭」を体験して東京へ帰るそうです。
「時間をかけて、ゆっくり楽しむ方が面白い」とアー
トミックスの楽しみ方を話していました。
5月14日までの限られた期間。楽しみ方はそれぞ
れ。せつかくの「さよまを舞台にした芸術祭」です。
お祭りは見ているより参加した方が絶対面白い。
(大曾根下里山通信員)



小出市長もバーチャル体験

里山からの発信

芸術祭りレポート3

アートミックス開幕前日の4月7日に旧里見小で開
会式が開催されました。市長からは近隣自治体の連携
の重要性への言及と、芸術祭開幕に至るまでの作家や
関係者、地域のボランティア、サポーター、そして準



湖岸美術館では小湊鉄道100周年企画として、か
こことしさんの作が「出発進行！里山トロッコ列車」
の原画を中心に展示されています。絵の持つ魅力もさ
ることながら著書から抜粋された卓見した「コトバ」
が心に入ってきます。連動企画展として開催されてい
るカールステン・ニコライさんのモノクロームの世界
は映像と音で構成されています。雲の写真では映画
「惑星ソラリス」(アンドレイ・タルコフスキー監督)
の知能を持った海を、ドーンという重低音は映画「A
KIRA」(大友克洋監
督)のそれを思い起こしま
した。美術館の外に出てみ
ると、湖側の一段低いこ
ろにカフフルな小屋群のイ
チマルがあります。雑貨そ
の他の販売のマルシェ(市
場)であり、また制作体験

の場でもあります。ミニ足湯もありました。たまたま
居合わせた子供の見た瞬間に発した一言「ミニ遊園地
じゃねえー！」それがすべてを物語っています。
月出工舎は宿賢さんを中心に9人の作家が作品発
表の場としています。
ここはサポーターと
しての菜の花プレイ
ヤーズのリピーター
が多く、20人くら
いの常連のメンバ
ーがいるそうです。ま
た月出町会の方が花
を持ってきてくれた
り、お新香をくれた
り、掃除をしてくれたりのサポーターをしていていま
す。作家とサポーターと町会の人たちの関係がうまく
できていて、サポーターしてくれる人たちが抜きには開幕
までに至らなかったと述べていました。1品持ち寄り
の昼食会や作家さんたちとの交流を通して、ここがサ
ポーターさんたちにとって魅力的な場所であり、楽し
いところなのだと考えられます。「みんなでつくるがっ
こう」まさにその通りの月出町会と月出の杜です。



3月30日に写真家山口直也氏、日本画家寺田琳氏、
能シテ方松千俊氏、バレエダンサーマイレントレウ
バエラ氏による能楽、バレエ、日本画による写真撮影
会がありました。これは芸術祭の地域プロジェクトに
参加する市原市謡曲連合会の、能楽体験で指導いただ
く能楽師松千俊氏との縁
で実現したものでした。寺
田琳氏の25メートルにも
及ぶ大作の背景に、能の静、
バレエの動、天と地をデー
マにした絵画、そして写真
家によるコラボ作品となり
ました。これらの作品は海
外に先駆けて一部を芸術祭
で展示し、後にベルリン、
ベネチア、イタリアのポー
ニヤで展示する予定となっ
ています。



次回にはディレクターが一人いて行政と作家の間に立つ
てことを進めていたので、作家たちに直に負荷がかか
らない状況でしたが、緩衝材としての存在がなくなっ
てしまったため、作家が作品制作以外のところでエネ
ルギーを使わなければならないのが今回です。ま
た会期の急な延長、約束事の不履行もあり、作家のモ
チベーションの低下や不満の噴出もあつたと聞きまし
た。作家が作品制作だけを考え没頭できる環境を作る
ことは、本来プロデュースする側の責任です。
アートミックスは今回が2回目です。国府まつりが
2日間だけの開催で主に市民を対象にしているのに対
し、アートミックスは37日間の長期にわたる外から
人を呼ぶことのできる市原市最大の観光イベントです。
人口流出の激しい市原市が、そのブランド力を高め、
外に向けて情報を
発信し、多くの人
に関心を持つても
らい、またこの地
を訪れてもらって
その魅力を知って
もらう上で、大き
な役割を担うこと
のできるイベント
です。経費のこと
が問題視されます
が、2日間の内に向けた祭りとして37日間の外に向けた
祭りの、一日あたりの経費、将来に向けた投資という
視点で見ると、どちらに費用対効果があるのか。
そこをこそ見るべきです。

大事なこと高いレベルを維持し内容を充実させて
回を重ねていくことです。初期投資は継続して徐々に
効果を上げていくことの意味があります。そのために
は、長期の視点と戦略に長けた若いリーダーと若いス
タッフに運営を委ねることも考えるべきだと思います。
また近隣自治体との連携で一つでも一つでも外に発表
の場を移し、中房総の芸術祭として県の支援を受ける
体制作りも必要かと思えます。
前回は今回も旧高滝小・旧富山小は全く使われてい
ません。バックアップ体制のあるところが活用されな
いのはもったいない話です。

次のために

市原市にとって高い効果を持ち、これから花開く可
能性の十分ある芸術祭です。早い段階での決断と準備、
専門的な見識を持ったディレクターと広い視野と戦略
性のあるプロデューサーの設置、様々なメディアを駆
使した効率の良い宣伝、新しい魅力的なキャッチフレー
ズとその浸透、そして作家との信頼関係の構築とスト
レスのない制作環境作り。さらに地域活動団体との協
力関係、作家と地域の人たちとの交流など、できうる
準備にこそ時間をかけて芸術祭を育てていく形を取り
組めたら、現在たくさんある芸術祭の中で、全国から
人を呼べるオンラインワンの里山の芸術祭へと向かって
いけるのではないかと考えます。(征矢里山通信員)

宝船当選者発表!

新春恒例の里山通信読者プレゼント宝船贈呈式を、
2月19日(日)に月崎の加茂支部で行いました。応
援のコメント・意見など、たくさんのお葉書を
いただきました。うれしく読ませていただきました。
編集部員一同、より一層よい紙面づくりにまい進して
まいります。

- 松賞(1名) 丸尾代さん
- 竹賞(1名) 松坂知衛さん
- 梅賞(1名) 小宮徳さん
- 超目玉賞(6名) 井上とよ子さん
- 中谷 豊子さん
- 花澤 幸子さん
- 前田 太久さん
- 石川 敬子さん
- 平田 久夫さん
- お年玉賞(7名) 稲葉 秀浩さん
- 加賀利 節子さん
- 佐藤 喜一さん
- 小関 照代さん
- 遠山 折哉さん
- 佐藤 典子さん
- 長村 日出夫さん



おめでとうございます!
(河崎里山通信員)

アトミックスの先にあるもの(4) 国際大会に向けた取り組み

2018年に世界女子ソフトボール選手権が開催されます。会場の一つとして市原市のゼットエーボールパーク(臨海競技場)が試合会場になっています。また、翌2019年にはラグビーワールドカップが日本で開催されることも決まっています。そして2020年は東京オリンピック・パラリンピック開催へと国際大会が続いていくこととなります。

こうした中、市原市では近隣自治体とも連携しながら、様々な取り組みを進めています。まず東京オリパラに向けて、ホストタウンの登録が決定しました。相手国はニュージーランドです。あくまで登録ですから、これからの選定作業の結果待ちではありますが、大きな可能性を感じます。

相手国の選定理由として、市原パクラ交友会が中心となって30年にわたる交流があったこと、オリンピックのキャンプ誘致において、ソフトボール、ラグビー、サッカーの出場可能性が高く、一連の世界大会を通じた一体的な取り組みが展開できること、ニュージーランドは自然が豊かであり、市原市の里山等の自然環境を生かした交流も期待できること、などが挙げられています。

女子ソフトボールでは、ニュージーランド代表チームとU23日本代表チームの強化合宿が市原市と君津市で行われることが決まりました。今年の7月中旬に2週間程度予定されています。

2019年開催のラグビーワールドカップに向けて、公認キャンプ地に長柄町と共同で応募しています。エアロビクスセンターの施設と市原市の芝生グラウンドを併せれば、国内でもかなり優位だと思われれます。キャンプ地の決定は関係者の現地視察を経て、今年の秋以降となります。(大曾根T里山通信員)



地域のご協力を まずは自己紹介から

加茂地区のみなさん、はじめまして。市原市地域おこし協力隊の高橋洋介です。簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれは市原市西広です。国分寺台小学校、国分寺台中学校に通い木更津高校に進学しました。卒業後は蔵野美術大学に進学し、その後は都内でグラフィックデザインを仕事にしています。大学生生活と合わせるように10年東京にいたことになりました。

ですが、いつかは市原に帰りたい、いつかは自分の培った技術を市原のために使いたいと思っていました。協力隊に選ばれた時には、これでやっと自分を育ててくれた市原に恩返しができると思っていましたが、その後も、空き家を紹介して下さったり、掃除を手伝って下さったり、野菜を分けて下さったり、お昼をごちそうして下さったり、飲み会を開いて下さったり、いろんな所を案内して下さったり、猪の肉をくださったり、畑を貸して下さったり、ドラム缶を持ってきて下さったり、一日かけて床の張替を手伝って下さったり、もう恩返しどころではありません。この恩は「これからの活動でしっかり返していきたい」と思います。

今は自宅の整備も大方終わり、四月から本格的に住み始め、少々のすきま風と動物の多さにやっと慣れてきたところです。協力隊の最初の活動は「地域のことをよく知る」と思っています。まずは地域の方々に話を聞き、様々なところに足を運ぶことで、これからの活動をしていくか決めていきたいと思っています。どこかで会った時にはいろいろと質問攻めにするかもしれません。どうか嫌にならないでください。まだまだ知らないことばかりで驚きと感動ばかりなんです。

実はアトミックスの開催期間に合わせて自宅を開放し、活動状況を皆さんに公開しようと思っています。今協力隊が進めている地域の人への聞き取り調査(質問攻め)で得られたことと、そこから考えたこれから



加茂菜漬は講習会NO.1

今年、暖かな日差しの中の講習会。南いちばらに位置する月崎にあるいちばらクオードの森で、一九会、喜劇房倶楽部、安由美会及び諸機関の協力の中、多くの参加者がありました。

まず最初に、加茂菜の茎の部分を残して葉先や下葉の枯れた部分を取り除き一握り程度を輪ゴムで一束とします。その束を20センチほど作ります。そして土や汚れを取るために、大きな容器で水洗い。クオードの森の炊事場で大勢の方々が並んで洗濯板の上で手もみ。洗濯板の上で塩を振りかけてぬめりが出るまでゴシゴシと転がしながら板すりを行う。ぬめりが出た束は漬け樽に重ねていく。一番上の加茂菜に軽く塩を振り、中蓋を置きその上に重石を置く。一晩経ったら漬け樽の上がり汁を捨て、軽めの石に変えて漬けます。

当日は加茂菜漬の混ぜご飯も用意されました。田舎の味というところでした。

今回は主催者側から、講習会以外でも加茂菜漬の材料の別途購入が可能である、との話を聞きました。加茂菜は高滝地区特有の産物と言われています。養老川の氾濫の多かった時代の土壌の産物。あるいは他の種子との交配を免れているためなのか、他の土地ではうまくいかないようです。

これからはあちゃん・かあちゃんの味として、加茂菜漬が引き継がれることを願います。(矢代里山通信員)



里山のご馳走

フキノトウの焼き味噌

春はフキノトウの季節です。天ぷらにしたり、佃煮にしたりいろいろ楽しめますが、最初はやはり「フキノトウの焼き味噌」で刻み、味噌、ツナ缶、唐辛子を一緒にたたき、皿に広げ網で焼きます。ご飯の上のせて、お漬物は自家製たくあんを加茂菜漬です。これぞ加茂地区のご飯のお供です。



ピーナツ味噌

そして千葉県のソウルフードといえる「ピーナツ味噌」ではないかと思えます。これも各家庭で作り方のこつがあるようですが、味付けはさておき、出来上がりの固さにいろいろ工夫がみられます。あまり練り上げてしまつと冷めてからチカチカになってしまい、箸を折ってしまった、なんて方もいるのではないのでしょうか？



加茂地区では落花生から畑で作っている人もいますが、殻をむくのも手間仕事です。生の落花生が手に入ったら作ってみましょう。【生落花生200g、味噌60g、砂糖60g、みりん大さじ1、酒大さじ1、油大さじ1】合わせみそを最初に作っておきます。厚手の鍋に油を入れ、中火でピーナツがカリッとするまで約10分炒めます。火を止めて合わせみそを鍋に入れ、ぼつりするまで練り上げます。お好みで白ごまを入れてもいいと思います。

干しイモ

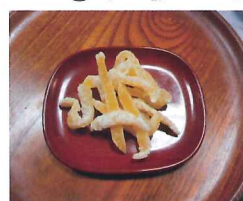
続いては「干しイモ」。さつま芋の保存食です。皮をむいて蒸したさつま芋を適当な厚さに切り、ざるに広げて干します。乾燥している時期なら、2〜3日でできあがります。「生乾きの芋をつまみ食いするのがうまいんだよね」と乾燥の度合いもお好み次第です。小豆を煮て、乾燥芋と一緒にに入れてお茶づけにしたりします。



夏ミカンの砂糖煮

こちらも名人があちらこちらにいますが、なかなか上手に仕上がらない。甘夏ミカンはきれいに洗い、皮に切れ目をいれて

- きれいにむく。(4等分)
 - 鍋にたっぷりの水を入れて、皮を入れて火にかける。中火で15分間煮る。
 - 鍋に流水を注ぎ、冷めたらざるに上げる。新しい水を鍋に入れ皮を入れて火にかける。②と③を3回繰り返す。
 - 水につけたまま蓋をして一晩置く。水を替えてもう一晩置く。
 - 皮を軽く絞って、重さを減らす。皮の重さの80%の量の砂糖と一緒に鍋に入れ、蓋をして弱火で煮る。
 - 30分程度たつたところで様子を見る。水分もかなり蒸発し、ワタの部分がかぼぼ透明になったら、焦げ付かない程度に煮詰める。
 - 網の上に乗せて、涼しいところで乾燥させる。3日間くらい。
 - 5ミリ程度の幅の細切りにする。
 - グラニュー糖をビニール袋に入れ、細切りにした甘夏の皮にまぶせば出来上がり。
- ※写真の場合は砂糖がけしてあります。コツを教わりたい次第です。



(大曾根R里山通信員)

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して



杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
 市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
 南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

里山に春到来!

3月後半からの冷え込みのため桜の開花が遅れ、アーティシックスの開花を迎えました。
 雨に濡れて菜の花が鮮やかです。薄ピンクの桜と黄色の菜の花の共演は加茂の里山の最も具事なコラボレーションです。石神の菜の花は、菜の花の努力によって今年も素晴らしい景色となっています。そこに負けないくらいの名所となりつつあるのが、月崎から大久



保に至る小湊鉄道沿線の道路沿いの場所です。多くの人の手により竹を伐採し、雑木を倒し、草を刈った場所に、これもまた手をかけて見事に育てた「菜の花畑」が出現しました。トンネルからトンネルの間のこの場所は、トロッキ列車に乗っている人にとってはまるで夢の国のような別世界です。いずれ桜が大きく育って菜の花ももっと増え圧巻の景色となり、たくさんの方がやってくる場所になると思います。

904冊の本が集まりました

市原商工会議所加茂支部として、福島県いわき市の震災孤児・遺児たち用に児童書を広く加茂地区の皆様募集をかけたところ、多くの本が寄せられました。その冊数は904に達しました。また支援金も2万円集まりました。市内全域では7000冊余りの本が集まりました。協力ありがとうございました。
 すべて3月11日に「有志の会」を通して現地に届けることが出来ました。
 後日現地よりお礼の便りが届きました。



「謹啓 日頃は特定非営利活動法人ぐくしま震災孤児・遺児をみまもる会に対し、ご理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 先般はぐくま3・11メモリアル「未来に花を咲かせよう!」に於いて、多大なるご支援と協力をいただきました。誠にありがとうございました。お陰様で無事終了することが出来ました。
 福島震災孤児・遺児、ならびに福島の多くの子どもたちが笑顔になってくれることを願ってこれからも頑張りたいと思っております。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。
 今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。
 特定非営利法人ぐくしま震災孤児・遺児をみまもる会 理事長 曾我泉美

編集後記

鳴くのが聞
 こえ、水の
 張られた田
 んぼからは
 カエルの声
 が聞こえて
 きます。毎
 年のように
 その年ごと
 に表情の異
 なる春です。
 ・フルカラーにして2号目。加茂の春はいかがでしょう。か。飯給駅も毎年のその表情を変えます。今年も毎日たくさんカメラマンが陣取っていました。菜の花と桜、そして駅とトロッキ列車、それに田んぼに張られた水に映る像。これらの要素がカメラマンを引き付けてやまないのでしょう。
 ・4月からの会議所内の移動で、加茂里山通信の事務局が河崎友則から以前担当だった霜崎賢一に代わります。よろしくお願ひ致します。
 (征矢里山通信員)

・本の募集は短期間でしたが、折り込みチラシを入れたその日から続々と集まり、商工会議所加茂支部の入り口に所狭しと積み重なっていきましました。これらの本が福島の震災孤児や孤児の小学生の、これからの人生にほんの少しでも糧となればと思います。本を提供していただいた方たちも同じ思いのことと思います。
 ・今年は春が少し遅れました。タケノコも遅れています。加茂地区の桜は雨の降る中で満開となり、雨の降る中で花びらを散らせ始めました。しかしその雨も岩ツツジやボケや桃の花に潤いを与え、花は鮮やかさを増しています。各駅をはじめ、加茂地区各所で菜の花が咲き誇り、香りを放っています。寒く光も弱く色彩の乏しい冬の後で、春の花々は生命力をみなぎらせ、光り輝いています。あちこちでキジの
 次回は7月25日発行予定です。
 情報提供、取材依頼は近くの通信員へ。
 メールでも受け付けます。
 記事に関するご意見、お問い合わせは左記へ。
 市原商工会議所
 0436(22)4305 担当 霜崎
 Eメール shimozaki@i-cci.or.jp

房総・養老深谷の
 地酒お土産は
 養老深谷駅前
角屋商店
 養老深谷観光協会窓口
 市原市朝生原181
 TEL0436-96-1108
 FAX0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らし
 応援します!
 安全・安心
 有限会社 **小茶自動車**
 全日本ロータスクラブ加盟店
 市原市石神227
 TEL0436-96-0482
 FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
 バス釣りの季節到来!
高滝湖観光企業組合
 TEL 0436-98-1277